

# 図書館員が行く!



～小諸市内で行われたイベント  
を図書館職員が体験。内容を報  
告します～

小諸菜種振興組合が主催する「菜の花まつり」が、このほど市内糠地のみはらし交流館で行われました。



一面の見事な黄色の絨毯、これはすべて菜の花です。

荒廃農地の活用を目的に、市内川辺地区の「小諸菜種振興組合」が始めた菜種油づくり。菜種油のPRも兼ねて御牧ヶ原の天池周辺で行われていた「菜の花まつり」ですが、連作障害を避けるため、今年是对岸の糠地にあるみはらし交流館に会場を移して行われました。組合員の方達が区内の休耕地1haに昨年9月に種をまき大切に育ててきました。



会場には、主催の小諸菜種振興組合のブースや、市内外の農産物や加工品を販売するブースが出張販売。



会場では、100%小諸産の菜の花油を使ったペペロンチーノドルチェや地元野菜のてんぷらなどが振る舞われました。

菜の花畑の間近まで行って記念撮影をする人も。

菜の花は5月中旬まで楽しめるほか、菜種油はあぐりの湯、駐車場ガーデン、マンズワインなどで購入することができます。'目'と'舌'の両方で菜の花を楽しんでみませんか？